

令和3年6月（水無月）

令和3年6月1日

女良公民館だより

氷見市女良公民館

館長 清水 孝則

日頃から公民館の取組にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。今年度も地域の自然や歴史、文化などに親しみをもって体験できる機会を探りながら地域のよさを知る取組を計画しています。特に「女良の風景写真コンテスト」が10回目を迎え、節目の年としての企画を考えています。多くの方々の参加をお待ちしています。 館長 清水孝則

令和3年度

地域のよさを体験する取組

☆6月～12月 女良の風景写真コンテスト

【地区のよさの再発見と女良のよさを紹介します】

☆11月～3月 わかめの養殖体験

【地区の特産物であるわかめの養殖を体験し、
海の豊かさと海を守る大切さを学びます】

☆12月 ミニ門松づくり教室

【地区に自生する竹などを使い、
新年を迎える準備を家族と一緒にを行います】

行事予定

宇波公民館と連携した ふるさと学び講座

☆7月 蛇が島自然観察・清掃活動

【地区の自然遺産を守る活動をしたり
海の生き物と出合ったりします】

☆9月 魚釣り体験教室

【家族で、身近な海での釣りを楽しみます】

※ いろいろな取り組みを通して連携でき
る活動を模索していきます

2つの取組を両輪に公民館活動を行います

地域の取り組みや活動などもお知らせします

「灰付わかめ」づくりの挑戦 2年目を迎えました

今年も女良公民館では地域の特産物であった「女良の灰付わかめ」づくりを地元の継承者の一人である田村外喜美さんにご協力を得ながら取り組みました。昨年度の記録に付け加えをしながら、さらに製造過程の累積に取り組んでいます。

今年も海風や太陽の光など自然の恵みと手間のかかる作業の大切さを実感すると共に、地域のよさを生かした取り組みを推進された中波地区の方々の「先人の明」に頭が下がる思いがしました。

灘浦小での 「運動会 & ふれあいまつり I」

晴天に恵まれ、5月15日に「みんなの笑顔があふれる運動会～絆・全力・協力～」&「ふれあいまつり I」が行われました。今年もコロナ禍のため、三密を避ける取り組みとなり、家族のみ参加の運動会になりましたが、子どもたちにとっては家族と一緒にできた楽しい時間になったと思います。

今年の人文字は「心」で、上手にできました。

